



お元気ですか！

志村 たかよし です

第892号 2018年6月10日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

2018年度の中央区議会構成決まる 共産党は委員長1・副委員長2＝私は築地等地域活性化の副委員長に

議長：磯野忠（自）

副議長：田中広一（公）

幹事長

志村孝美（共）、石田英朗（自）

中島賢治（公）、渡部博年（区）

●議会運営委員会

委員長：瓜生正高（自）

副委員長：中嶋ひろあき（自）

委員

志村孝美、押田まり子（自）

石田英朗、中島賢治、墨谷浩一（公）

（公）松川たけゆき（区）

〈常任委員会〉

●企画総務委員会

委員長：鈴木久雄（自）

副委員長：奥村暁子（共）

委員

押田まりこ子、瓜生正高

堀田弥生（公）、松川たけゆき

原田賢一

●区民文教委員会

委員長：田中耕太郎

副委員長：石田英朗

委員

加藤博司（共）、染谷真人（自）

田中広一、青木かの、渡部恵子

●福祉保健委員会

委員長：渡部博年

副委員長：海老原崇智（自）

委員

小栗智恵子（共）、木村克一（自）

塚田秀伸（自）、中島賢治、

小坂和輝

●環境建設委員会

委員長：富永一（自）

副委員長：墨谷浩一

委員

志村孝美、中嶋ひろあき、磯野忠

佐藤敦子（自）、山本理恵

〈特別委員会〉

●築地等地域活性化対策

委員長：塚田秀伸

副委員長：志村孝美

委員

中嶋ひろあき、木村克一

田中広一、渡部博年、青木かの

●子ども子育て・高齢者対策

委員長：佐藤敦子

副委員長：堀田弥生

委員

奥村暁子、石田英朗、田中耕太郎

山本理恵、原田賢一

●防災等安全対策

委員長：小栗智恵子

副委員長：松川たけゆき

委員

鈴木久雄、富永一、海老原崇智

中島賢治、渡部恵子

●東京オリンピック・パラリンピッ

ク対策

委員長：染谷真人

副委員長：押田まり子

委員

加藤博司、瓜生正高、塚田秀伸

墨谷浩一、小坂和輝

【会派名】

（共）日本共産党中央区議団

（自）中央区議会自由民主党区議団

（公）中央区議会公明党

（区）中央区民クラブ

【一人会派】

無所属、無所属の会

子どもを守る会、新青会

区民と共に歩む会

「中央区ヒストリー」④ 「遊・職・住」三拍子そろったまち

関東大震災、東京大空襲からの復興

大正12年（1923年）9月1日に起こった関東大震災は首都全域に激甚な被害をもたらし、日本橋地区は全域、京橋地区も80%が焼失するという大惨事となりました。

復興事業により、昭和通りなど新たな道路も建設され、日本橋にあった魚市場は築地に移転し、多くのデパートが銀座に進出しました。「銀座」という言葉が生まれ、ダンス

ホールや喫茶店が人気を呼んだのもこのころです。

昭和20年（1945年）の東京大空襲によってまちは焼け野原となりましたが、人々の復興への思いは強く、まちは徐々に元の姿を取り戻していきます。

昭和22年（1947年）に東京は23区制となり、日本橋区と京橋区を合わせ中央区が誕生します。

新生中央区が日本の経済、文化の中心として本格的に復興したのは講

和条約の結ばれた昭和26年（1951年）ごろです。

発展を続ける中央区

昭和30年代にはビル建設ラッシュが訪れ、首都高速道路や地下鉄などの建設も次々と行われました。

さらに昭和39年（1964年）の東京オリンピック開催や高度経済成長を機に中央区も大いに発展を遂げ、特に銀座はデパートやブランドショップが建ち並ぶファッションのまちとして注目を集めます。

昭和43年（1968年）には第1回「大銀座祭り」、昭和45年（1970年）からは歩行者天国が実施され



む望町兜りよ局橋戸江 秋徳の災皇大都帝
【関東大震災】帝都大震災の惨状 江戸橋局より兜町望む
（郷土天文館「タイムドーム明石」所蔵）

中央区の沿革 ダイジェスト

- 大正12年(1923年) 関東大震災
魚市場が築地に移転
- 昭和7年(1932年) 地下鉄銀座線が延長され、浅草・新橋間の運行を開始
- ～太平洋戦争～
- 昭和20年(1945年) 終戦
空襲と疎開で区内の人口が激減
- 昭和22年(1947年) 日本橋区と京橋区が統合され、中央区が誕生
- 昭和28年(1953年) 第1回中央区商業まつり開催
- 昭和30年(1955年) 晴海埠頭開港
晴海で国際見本市開催
- 昭和38年(1963年) 月島に豊海町が誕生
- 昭和45年(1970年) 銀座で歩行者天国を開始
- 昭和57年(1982年) 公募により「中央区八景」が決定
- 昭和63年(1988年) 東京湾大華火祭開催
- 平成3年(1991年) 全国初の多世代交流型複合施設「マイホームはるみ」開設
- 平成10年(1998年) 45年ぶりに区の人口が前年比で増加
中央区基本構想策定
- 平成11年(1999年) 中央区基本計画策定
- 平成13年(2001年) 中央清掃工場が本稼働開始
- 平成18年(2006年) 区の人口が昭和50年(1975年)以来31年ぶりに10万人を回復
- 平成20年(2008年) 第1回中央区まるごとミュージアム開催
- 平成21年(2009年) 中央区コミュニティバス「江戸バス」運行開始
- 平成23年(2011年) 東日本大震災
- 平成27年(2015年) コミュニティサイクル事業実証実験開始
- 平成28年(2016年) 「中央区観光情報センター」開設
「築地魚河岸」プレオープン
- 平成29年(2017年) 区の人口が昭和37年(1962年)以来55年ぶりに15万人を突破
中央区基本構想策定
- 平成30年(2018年) 中央区基本計画策定

0年）からは歩行者天国が実施されました。平成に入ると月島エリアでも再開発が加速し、高層マンションや商業ビルが建設され、ウォーターフロントの整備が進められてきました。晴海5丁目には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村が建設されます。

また、京橋・日本橋エリアには新たなファッションビルが建設され、中央区は「遊」「職」「住」三拍子そろったまちとして、ますます注目を集めています。